

II 浦戸コミュニティ計画

(まちづくりの目標)

将来のトータルイメージ

太陽と風と龍馬にあえるまち

(まちづくりの体系)

1 明るい笑顔のあふれるまち

- (1)福祉の充実
- (2)文化・教育の充実
- (3)地域交流の活発化
- (4)地場産業の創造

2 歴史と自然を大切にするまち

- (1)自然環境の保全
- (2)史跡の保全と活用
- (3)桂浜を充実させよう

3 安心して暮らせるまち

- (1)排水路を早期に整備しよう
- (2)道路整備
- (3)防災対策を図ろう

1 明るい笑顔のあふれるまち

高齢化社会をふまえ、地域のみなさん主体によるミニデイサービス等の検討、既存公園の再整備、浦戸版夏期大学の開催等文化活動の推進など、子供からお年寄りまで、みんなが笑顔で生活できる環境づくりが必要です。また、鮮魚加工品等の販売による地場産業の育成・発展に向けた取り組みも検討しなければならないと思います。

(1)福祉の充実

実施中又は短期に実施予定の事業

- ・支所西隣の市
施設 ○平成10年9月に施設の改修は終了している
- ・老人クラブ活動
の充実・拡大 ○浦戸地区の老人クラブ活動に参加いただくなかで今後も充実を図る
- ・地域交流事業 ○地域の健康づくりを基本とした地域交流事業（ミニデイサービス等）の実施を検討
○地域の自主運営を原則とするが、組織・方法等のノウハウが確立するまでは必要に応じて専門職を派遣
- ・健康診断の時期及び場所の
検討 ○浦戸小学校において年1回・7月に実施していたが、今後は夏場をさげ適
当な時期に実施できるよう検討
○なお、浦戸地区センターで健康診断を実施することについては、検診車の
駐車スペースがなく困難

実施困難

- ・総合老人ホームの建設 ○高知市保健福祉計画の見直しの中で、特別養護老人ホーム等各種施設の目標数はほぼ達成される見通しであることや隣接する長浜・横浜に施設があるという現状もあり建設は困難
- ・浦戸診療所 ○現在の利用者が少数であることや隣接地域の医療機関数から診療回数の増加は困難
○診療所の存在については、承知している住民が多く現在のところPRについては考えていない

(2)文化・教育の充実



実施中又は短期に実施予定の事業	
・文化教室	○地域で開催される各種の講座・学級等で必要な講師・指導者については、人材の情報提供を積極的に行い、地域における生涯学習を推進 ○中央公民館と共催事業であれば、講師謝金等については支援可能
・スポーツ教室	○体育会を通じ要望があれば実施可能
・学校開放	○浦戸小学校については、教室の開放は実施していないが、体育館・グラウンド共に学校体育施設開放事業で開放
・浦戸夏期大学 や講演会の開 催	○県内大学、知識人を講師とした地域住民対象の講演会であれば実現可能であり、地域のニーズにあった企画等支援を実施 ○中央公民館と共催事業であれば、講師謝金等については支援可能 ○また、地域出身者を招いての講演会の実施については、人材把握や地域の人々のニーズを勘案しながら検討
・浦戸文化展	○作品展示用パネルの貸出等の支援は可能
・配本所	○本の貸出・返却等について地元の協力がいただければ、浦戸地区センター5号室を配本所として開設は可能

実施困難	
・市営住宅の建 設	○現在は、既存住宅団地のうち老朽・狭小化が著しい団地の建替建設を行っており、新たに浦戸地区へ市営住宅を建設することは困難

(3)地域交流の活発化



実施中又は短期に実施予定の事業	
・ラジオ体操の サークルづくり	○地域住民の健康づくりやスポーツ活動については、小学校毎に設置されている地区体育会が中心となって実施中 ○サークルづくりについては、浦戸体育会に働きかけを行う
・小学校グラウンドの 夜間照明	○平成11年度に、浦戸小学校グラウンドに夜間照明を設置予定

中長期的に実施すべき事業	
・公園空白地	○借地基準に合致し、所有者の同意が得られれば整備
・アスレチック 広場	○地元の子供達が、たくさん利用していただくようにPRを行うとともに、整備については広場全体の中で検討

(4)地場産業の創造



— 中長期的に実施すべき事業 —

- ・ 鮮魚等の加工 品の販売 ○地場産業の育成や観光振興の面からも大いに期待される場所であるが、資金計画や用地確保等の多くの課題があり今後検討が必要

— 実施困難 —

- ・ 釣り舟, 釣り 餌, 釣り具等 総合的な施設の開設 ○浦戸地区へ新たな施設の開設は困難であるが, 昭和41年に高知市横浜に高知市漁協と御畳瀬漁協の共同事業で高知市観光漁業センターを開設しており, 市としても, 施設改善等について支援

2 歴史と自然を大切にすまち

桂浜に代表されるように, 豊かな自然環境に恵まれた地域であり, 災害時の対応を含めた環境保全対策も大変重要でありますし, 長浜海岸の整備にも取り組んでいかなければなりません。また, 地域にある史跡めぐりコースの設定や, 桂浜を中心とした浦戸地区の史跡パンフレットの作成, 案内板の設置等についても, 地元のみなさんと今後検討していきたいと思います。

(1)自然環境の保全



— 実施中又は短期に実施予定の事業 —

- ・ 一斉清掃 ○一斉清掃に要するゴミ袋等の提供やゴミ類の収集による支援は可能
- ・ 保存樹木・樹林 ○指定に向けて, 具体的な場所が示され指定基準に合致すれば, 所有者の同意を得て緑政審議会に諮る
- ・ 花いっぱい会 ○組織化ができれば, 年間20万円を限度に花の種苗の現物支給

— 中長期的に実施すべき事業 —

- ・ 五色石の復活 ○桂浜から五色石が少なくなった原因は, 仁淀川にできたダムが下流への五色石のもとになる岩の供給を減らしていることと等の理由があり, 今後時間的な経過を見守りたい
- ・ 松林の整備 ○苗木の無料配布については今後も実施予定
○なお, 松林の保存については今後地元と協議

— 他機関への要望 —

- ・ **長浜海岸** ○建設省の高知海岸「環境基本計画」によると、龍王岬から春野町甲殿にかけては、約1キロ毎にヘッドランド（人工岬）の設置や養浜工の実施等の計画があり、早期完成に向けて建設省に要望

(2)史跡の保全と活用

— 実施中又は短期に実施予定の事業 —

- ・ **史跡台帳・史跡めぐりマップづくり** ○地元主体で調査・原稿作成に取り組んでいただけるなら支援可能
- ・ **説明板・案内板の設置** ○地元主体で調査・計画し、地権者等の協力が得られれば支援可能
- ・ **地域学習** ○生活科や社会科の授業で、地域学習を実施。今後も地域の歴史・文化についての学習を継続

— 中長期的に実施すべき事業 —

- ・ **佐藤元秀先生の碑の移転** ○移転経過等について、まず推進市民会議を中心に地元で調査を願いたい
○なお、碑の説明板については推進市民会議を中心に地元での調査や説明板の内容等について検討いただければ設置に対する支援は可能
- ・ **稲荷神社の警告碑** ○碑を元の場所に戻すことについては、推進市民会議を中心に地元の皆さんと再度協議していただき、元の場所の確定ができれば検討

— 実施困難 —

- ・ **忠霊塔の整備** ○当該忠霊塔のある丘陵地は、一部市有地があるものの、その殆どが民有地であり現在のところ整備は困難

(3)桂浜を充実させよう

— 実施中又は短期に実施予定の事業 —

- ・ **桂浜公園駐車場** ○平成10年度に駐車場の拡張工事を実施（約90台増加）
○ゴールデンウィークの駐車場対策としては、民有地の借地で対応

— 中長期的に実施すべき事業 —

- ・油流出等事故対策 ○油流出等の事故対策については、海上保安部が中心になって防災関係機関等が実施
○油流出等の防災活動と体制強化のため、平成9年度に海上保安部、関係市町村が会員となり「高知県油流出災害対策協議会」が発足されており、今後この協議会による連絡体制の強化、訓練等が実施されることにより体制の整備が図られる
- ・史跡めぐりコース ○ふるさと訪ね歩きコースとして浦戸湾周遊コースが整備されているが、まずは桂浜と浦戸を一緒にしたパンフレットの作成、案内板の設置について地元の皆さんと協議しながら検討

— 実施困難 —

- ・花海道から桂浜区間の散歩道の整備 ○桂浜の整備は、本浜・サービスエリア等を計画しており、龍王岬より西側についての計画はない
- ・桂浜公園駐車場の地元無料化 ○桂浜公園の駐車場利用収入は、施設の維持管理や桂浜公園の整備に充てられており、地元への無料化は困難

3 安心して暮らせるまち

公共下水道や排水路の整備等、浸水対策に向けた取り組みをすすめる一方、観光道路の整備や、側溝の蓋掛けによる生活道路の有効幅員の確保など基盤整備についての検討も必要です。また、災害時を想定した、自主防災組織の結成や防災訓練の実施、防災マップの作成等についても地元のみなさんの協力をいただきながら取り組んでいきたいと思ひます。

(1)排水路を早期に整備しよう

— 実施中又は短期に実施予定の事業 —

- ・排水路整備 ○並地区の西部において、部分的ではあるが平成10年度、調査を実施しており、平成11年度実施設計及び着工予定
○これは、抜本解消までの暫定措置となるが、横田野及び並地区西部の浸水解消並びに浦戸東方面への排水量を軽減
- ・水路浚渫・臭気対策 ○毎年1回、梅雨時まで実施

中長期的に実施すべき事業

- ・ 公共下水道 ○下水道認可区域の編入に向けて取り組みを推進
- ・ 浸水対策 ○住宅地の中を流れる排水路や断面の劣る水路等について、抜本的な整備が必要であり、これと並行しポンプの容量アップを検討

(2)道路整備

実施中又は短期に実施予定の事業

- ・ 通学路整備 ○浦戸東・南浦間の金網トンネル施工箇所については、コンクリートをかぶせる工法では道幅が一層狭くなり困難であるが、石の除去や改修はこれからも実施
- ・ 樹木の剪定 ○浦戸トンネル北口の西側の樹木の剪定については、今後も剪定が必要な時期に地権者に依頼
- ・ 道路不法占用 ○具体的な不法占用箇所がわかれば指導
- ・ 側溝の蓋掛け ○有効幅員4.0 m未満の市道については、関係者全員の同意があれば側溝整備時に蓋掛けを実施
- ・ カメラの設置 ○現在継続施工中であり、地元において箇所付け等具体的な要望があれば検討

中長期的に実施すべき事業

- ・ 緊急自動車の
進入路確保 ○拡幅する用地が確保される箇所については拡幅整備
- ・ 電柱の工夫 ○具体的な陳情要望により検討
- ・ 浦戸大橋の無
料化 ○平成14年7月11日より無料化予定

実施困難

- ・ 浦戸地区の南
北をつなぐ車
道の整備 ○用地の確保が難しく多額の事業費となるため困難

他機関への要望

- ・ 観光道路整備 ○県道の舗装改良及び桂浜入口の拡幅については県に要望
○また、ゴールデンウィーク等の交通渋滞については、民有地の借地等で対応
- ・ 花海道の施設整備 ○花海道の駐車スペースの拡充及び照明施設の統一化及び増設については県へ要望
- ・ 信号機 ○南浦バス停付近への押しボタン信号機の設置については、地元で調整後、県警への要望が必要
○なお、観光道路入口の信号システムについては平成10年7月に改善済

(3)防災対策を図ろう

実施中又は短期に実施予定の事業

- ・ 自主防災組織の結成 ○「自主防災組織の育成」を防災施策の重要課題と位置づけ、啓発活動、防災避難訓練等を実施。今後とも結成に向け積極的に対応
○組織が行う放送施設の設置等、防災施設の整備事業に対し、事業費の一部助成を実施（9年度から助成率1/2，限度額50万円）
- ・ 防災訓練 ○防災に関する基礎知識と行動力を身につけるため、要望があれば避難、消火訓練等について積極的に支援
- ・ 防災・避難体制 ○地域の実情に応じた防災・避難体制を住民自らが検討することが重要であり、自主防災組織結成へ向け積極的に対応
- ・ 防災マップ ○防災広報事業として、地震対策市民啓発用パンフレットや避難所等掲載地図の作成及び配布
○避難経路や危険箇所の把握等、地域独自の防災マップ作成に関しては、資料や情報の提供
- ・ 災害弱者対策 ○民生委員等との連携を含めたシステムづくりを検討

中長期的に実施すべき事業

- ・ 緊急避難場所 ○津波対策を含む浦戸地区全体の避難体制（避難場所・避難経路等）の整備については早急な検討が必要
- ・ 警告板の設置 ○高知県において津波防災アセスメント事業が進められており、その中で高知県下及び市町村レベルでの一定の津波被害の危険区域が想定される
○津波の規模に対する警告板の設置については、その結果を待って検討が必要